2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上場会社名　　白銅株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7637　　URL　https://www.hakudo.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）山田　哲也
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役　CFO　　（氏名）山田　光重　　ＴＥＬ　03-6212-2811
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　　2026年12月10日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

(1)連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	45,080	37.9	2,892	187.6	2,952	171.5	2,032	197.5
2026年３月期中間期	32,699	0.7	1,005	△36.0	1,087	△38.8	683	△44.1

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　2,288百万円（255.5%）　2026年３月期中間期　643百万円（△49.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	179.20	―
2026年３月期中間期	60.25	―

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	52,471	27,111	51.7
2026年３月期	47,564	25,465	53.5

（参考）自己資本　　2027年3月期中間期　27,111 百万円　2026年3月期　25,465百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	28.00	－	58.00	86.00
2027年３月期	－	81.00			
2027年３月期（予想）			－	71.00	152.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

３．2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,500	37.3	5,480	90.8	5,660	77.4	3,810	77.5	335.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　−社　（社名）、除外　−社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P8「(3)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	11,347,857株	2026年３月期	11,343,300株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,631株	2026年３月期	1,591株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	11,343,420株	2026年３月期中間期	11,341,709株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
（４）利益配分に関する基本方針及び当期の配当 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

① 売上高

売上高は、前中間連結会計期間比37.9%増加し、中間連結会計期間では過去最高となる450億8千万円となりました。主な増加要因は、半導体製造装置業界向けの販売量が増加したこと、ならびに原材料市況の影響により商品単価が上昇したことによるものです。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調がみられたものの、物価上昇や原材料・エネルギー価格の高止まりに加え、中東地域をめぐる地政学的リスクなどの影響から、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの業績に影響が大きい半導体製造装置業界については、生成AI市場の拡大を背景にデータセンター向けの先端ロジック半導体ならびにメモリー半導体の増産投資が急増していることから、半導体向けの設備投資は高い水準で推移いたしました。

その他、航空・宇宙業界は、民間機需要が堅調に推移したことに加え、防衛関連を中心に官需向けも好調に推移しており、引き続き良好な事業環境が継続いたしました。また、工作機械業界においても、半導体関連、航空・宇宙関連およびエネルギー関連分野を中心に内需、外需とも好調な動きが見られました。

このような状況のなか、当社グループは、品質・サービスの改善などにより受注率向上への取り組みに注力したほか、アルミニウムおよびステンレスの薄板の拡販強化、滋賀工場および神奈川工場におけるファイバーレーザー加工機の導入による新規需要の取り込み、成長領域として捉えている航空・宇宙業界および自動車業界を中心とした新規顧客の開拓に取り組んでまいりました。半導体製造装置業界向けにおきましては、半導体業界に特化した販売組織を設立したことにより顧客基盤の拡大を進め、同業界におけるシェア拡大を市場成長とともに加速させてまいりました。さらに24時間365日見積り・注文可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」の取扱アイテム数を2026年９月末時点で333,000アイテムまで拡充したほか、「DATAで見積り・注文」および「描いて見積り・注文」などの新機能の普及ならびに利便性の更なる向上に努めてまいりました。

また、海外事業におきましても新規市場の開拓および代理店販売網の強化等により、海外向け販売の拡大を推進してまいりました。

製造面においては、半導体関連需要の拡大、航空・宇宙業界などの成長領域への拡販を踏まえた生産体制の強化を図ってまいりました。

連結子会社については、株式会社AQRにおいて半導体関連の需要拡大を背景に売上高が前中間連結会計期間比で増加したほか、海外では上海白銅精密材料有限公司 、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.および米国のWest Coast Aluminum & Stainless, LLCのいずれにおいても売上高が前中間連結会計期間比で増加しました。

以上、顧客満足度の向上および事業領域拡大等の施策を着実に実行した結果、売上高は前中間連結会計期間比で増加となりました。

② 営業利益

営業利益は、前中間連結会計期間比187.6%増加し、28億9千2百万円となりました。

営業利益の増加要因は、半導体製造装置業界向けを中心に販売量が増加したことに加え、前連結会計年度で実施した価格改定が浸透したこと、粗利益率の高い標準在庫品の販売量の増加により利益率が改善したこと、および原材料市況の影響による棚卸資産影響額差益の増加によるものです。

なお、前中間連結会計期間の棚卸資産影響額は8千5百万円の差益でしたが、当中間連結会計期間の棚卸資産影響額は7億7千3百万円の差益となりました。棚卸資産影響額を除いた営業利益は、前中間連結会計期間比で130.3%増加し、21億1千9百万円となりました。

③ 経常利益

経常利益は、営業利益の増加により前中間連結会計期間比171.5%増加し、29億5千2百万円となりました。なお、経常利益におきましても、中間連結会計期間としては過去最高を更新しました。

以上の結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、前中間連結会計期間比197.5%増加し、20億3千2百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりとなります。
当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

セグメント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
日本	39,312百万円	2,538百万円	2,530百万円	1,674百万円
北米	2,999百万円	96百万円	149百万円	148百万円
中国	1,558百万円	119百万円	134百万円	100百万円
その他	1,209百万円	138百万円	138百万円	108百万円

④ 当社を取り巻く環境

原材料市況は、アルミニウム地金（日本経済新聞月別平均値）がトン当たり2026年３月末の63万５千円から2026年９月末には64万１千円に、電気銅建値がトン当たり2026年３月末の204万円から2026年９月末には242万円に、ステンレス鋼板（鉄鋼新聞月別中心値）がトン当たり2026年３月末の57万円から2026年９月末には62万円となり、いずれも上昇しました。

（２）財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、524億7千1百万円と、対前連結会計年度末比で49億7百万円増加しました。

流動資産は、415億9千万円と、対前連結会計年度末比で46億6千5百万円増加しました。増加額内訳は、現金及び預金15億7千4百万円、受取手形及び売掛金14億1千万円、商品及び製品12億8千7百万円、電子記録債権2億9千8百万円等です。

固定資産は、108億8千1百万円と、対前連結会計年度末比で2億4千2百万円増加しました。増加額内訳は、投資有価証券3億2百万円、建物及び構築物2億2千4百万円等です。

(負債)

流動負債は、252億4千万円と、対前連結会計年度末比で32億8千万円増加しました。増加額内訳は、電子記録債務18億4千2百万円、買掛金11億6千8百万円、未払法人税等3億4百万円、賞与引当金1億8千1百万円、未払費用1億5千3百万円等です。減少額内訳は、流動負債その他に計上された、未払消費税2億1千5百万円、未払金1億7千万円等です。

固定負債は、1億1千9百万円と、対前連結会計年度末比で微減となりました。

(純資産)

純資産は、271億1千1百万円と、対前連結会計年度末比で16億4千6百万円増加しました。増加額内訳は、利益剰余金13億7千4百万円、その他有価証券評価差額金2億円等です。

自己資本比率は、前連結会計年度末の53.5%から51.7%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年８月７日公表の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2026年11月11日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（４）利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、財務体質の強化と業績に裏付けられた成果の配分を実施することを基本方針とし、配当については原則、通期の配当性向45%または年間配当１株当たり80円のいずれか高い方を配当しております。

当期の中間配当金は、この基本方針に基づき１株当たり普通配当81円とすることを決定いたしました。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,670,038	9,244,936
受取手形及び売掛金	11,404,566	12,814,774
電子記録債権	5,070,604	5,368,904
商品及び製品	12,501,845	13,789,779
原材料及び貯蔵品	30,152	43,977
その他	301,771	374,541
貸倒引当金	△53,602	△46,432
流動資産合計	36,925,375	41,590,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,320,094	8,600,025
減価償却累計額	△6,736,889	△6,792,107
建物及び構築物（純額）	1,583,204	1,807,917
機械装置及び運搬具	10,015,708	10,176,890
減価償却累計額	△7,289,270	△7,511,522
機械装置及び運搬具（純額）	2,726,437	2,665,367
土地	1,899,876	1,899,876
その他	1,062,759	1,010,280
減価償却累計額	△754,211	△768,457
その他（純額）	308,547	241,822
有形固定資産合計	6,518,066	6,614,983
無形固定資産		
のれん	792,830	798,167
その他	554,050	495,509
無形固定資産合計	1,346,881	1,293,676
投資その他の資産		
投資有価証券	1,883,662	2,186,321
繰延税金資産	258,808	167,110
その他	631,556	619,343
投資その他の資産合計	2,774,027	2,972,775
固定資産合計	10,638,975	10,881,435
資産合計	47,564,350	52,471,917

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,717,747	9,886,681
電子記録債務	10,270,270	12,112,643
未払費用	1,004,131	1,157,237
未払法人税等	656,816	961,284
賞与引当金	516,866	697,880
役員賞与引当金	80,520	101,012
株主優待引当金	64,000	―
その他	649,393	323,769
流動負債合計	21,959,745	25,240,510
固定負債		
長期預り保証金	44,600	68,100
退職給付に係る負債	12,947	9,424
その他	81,594	42,007
固定負債合計	139,141	119,531
負債合計	22,098,887	25,360,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,008,020
資本剰余金	408,820	416,840
利益剰余金	22,546,476	23,921,365
自己株式	△2,067	△2,200
株主資本合計	23,953,229	25,344,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541,378	742,203
為替換算調整勘定	970,852	1,025,643
その他の包括利益累計額合計	1,512,230	1,767,846
非支配株主持分	3	3
純資産合計	25,465,462	27,111,875
負債純資産合計	47,564,350	52,471,917

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	32,699,673	45,080,290
売上原価	27,939,186	37,696,796
売上総利益	4,760,486	7,383,493
販売費及び一般管理費	※ 3,754,741	※ 4,490,727
営業利益	1,005,745	2,892,766
営業外収益		
受取利息	10,013	29,404
受取配当金	134,736	46,372
不動産賃貸料	51,851	53,390
その他	7,066	14,889
営業外収益合計	203,668	144,056
営業外費用		
不動産賃貸費用	8,517	8,413
固定資産処分損	3,688	54,081
為替差損	108,076	20,719
その他	1,491	936
営業外費用合計	121,773	84,150
経常利益	1,087,640	2,952,672
税金等調整前中間純利益	1,087,640	2,952,672
法人税等	404,277	919,963
中間純利益	683,362	2,032,708
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	683,361	2,032,707

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	683,362	2,032,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,653	200,825
為替換算調整勘定	△57,360	54,790
その他の包括利益合計	△39,706	255,616
中間包括利益	643,655	2,288,324
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	643,655	2,288,324
非支配株主に係る中間包括利益	0	0

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
従業員給与	831,842千円	833,439千円
運賃	1,008,730	1,261,711
賞与引当金繰入額	205,498	398,490
貸倒引当金繰入額	1,496	648
役員賞与引当金繰入額	27,690	101,012
退職給付費用	18,875	18,465

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計
	日本	北米	中国	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	28,274,070	2,755,169	867,611	31,896,850	802,822	32,699,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	541,102	1,758	4,126	546,986	－	546,986
計	28,815,173	2,756,927	871,737	32,443,837	802,822	33,246,660
セグメント利益又は損失（△）	1,191,152	△183,105	8,489	1,016,536	72,821	1,089,358

（注）１．「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

２．外部顧客への売上高は自社（当社グループ）の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,016,536
「その他」の区分の損益	72,821
セグメント間取引消去	△1,718
中間連結損益計算書の経常利益	1,087,640

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計
	日本	北米	中国	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	39,312,892	2,999,254	1,558,654	43,870,801	1,209,488	45,080,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	690,247	－	51,565	741,812	－	741,812
計	40,003,139	2,999,254	1,610,220	44,612,614	1,209,488	45,822,103
セグメント利益	2,533,923	149,082	134,496	2,817,503	138,716	2,956,219

（注）１．「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

２．外部顧客への売上高は自社（当社グループ）の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,817,503
「その他」の区分の損益	138,716
セグメント間取引消去	△3,547
中間連結損益計算書の経常利益	2,952,672

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。